

一般質問



池田 久男 議員

問 河川の浚渫対策は

答 継続的に現場状況で対応する

問 現状をどのように把握しているのか。

答 建設部長 須美・尾

浜・石川など、堆積土や雑草、雑木で通水断面の阻害が懸念される。

問 定期点検の実施は。

答 地元から整備・修繕要望の県管理河川は、平成27年度から県・町・地元で合同点検を実施。

問 処理方法の課題は。

答 残土処分指定地が遠いと工事費が増額するため処分地選定が課題。

問 今後の対応は。

答 平成28年度から須美川29年度から尾浜川の浚渫を実施。必要な箇所、処分地など関係者と協議。早期に実施すべきである。計画は。

問 河川の浚渫、河川施設修繕の長期計画をたて、毎年、継続的に現場状況に応じ対応をすすめる。

問 水位路面標示の設置拡大を

答 早急に対応する

問 導入への経緯は。

答 建設部長 平成28年9月、清須市県道のアンダーパス冠水でドライバーが死亡した。

愛知県が事故の未然防止のため設置。

問 周知方法はどのように。

答 水位の路面標示で意識づけ、路面冠水表示板、予告表示板で情報発信。

問 機能は。

答 冠水深5cmで路面冠水情報システムが稼働し、冠水深15cmで通行止表示とバルーン式仮封鎖装置、エア遮断機で車線を仮封鎖。

問 安全対策は。

答 エアバルーンのため重大事故になりにくい構造。内部にLEDを組み込み認識できる。

問 今後の設置拡大は。

答 町長 鷺田・仲田アンダーパスは早急に対応する。



交通遮断機（バルーン式仮封鎖装置）錦田アンダーパス

一般質問その後 追跡

あの答弁は
どうなったの!



友好親善交流会（島原城）

平成27年12月定例会

大嶽 弘議員

島原市と姉妹都市提携は

問

平成27年10月31日「島原市と幸田町の友好親善交流会」が開催された。島原市と姉妹都市提携は。

答

交流の意義を町民などが共有し、持続可能な交流体制を構築する。

その後

平成29年10月11日「島原市・幸田町姉妹都市提携調印式」を、島原市と幸田町の2会場で同日同時刻で実施する。



設立された成年後見支援センター

平成28年9月定例会

志賀 恒男議員

成年後見センターの設立は

問

平成28年春、成年後見制度利用促進法が制定されている。成年後見センターの設立は。

答

平成28年度に設立準備、社会福祉協議会への委託方式で平成29年度に設立予定。

その後

平成29年度4月1日より社会福祉協議会内に成年後見支援センターを設立した。現在、4件の相談を受けていた。

平成28年12月定例会

丸山千代子議員

平成29年3月定例会

水野千代子議員

配慮した場所で

学習支援事業を

問

子どもの貧困対策から、子どもに配慮した場所の選定で、学習支援事業の実施を。

答

町内1カ所で実施する。学習支援と配慮した居場所の提供をしていく。

その後

平成29年6月8日から週2回、「つどいの家」で実施。愛恵協会が運営し、現在、小学生7人、中学生1人が通っている。



つどいの家で学習支援